
おーでんの日々

ばんごはん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おーでんの日々

【Nコード】

N0895Z

【作者名】

ばんごはん

【あらすじ】

女神様の都合によりよその世界に放り出された主人公。
チート能力はひとつだけ。食べるのに困らない能力がひとつだけ。
戦え主人公、世界を救うのだ。（魔王の登場は未定です）

テンプレ進行その1（前書き）

試作品を引き伸ばしてみました。

テンプレ進行その1

登校途中で聞いた激突音。

振り向いた俺に空中を飛んで迫ってくる白い乗用車。

全身に感じた衝撃と宙を飛ぶ感覚。

なぜか車に書かれた藤原豆腐店の文字が目には焼け付く。いつか事故ると思ったんだ、暴走親子め。

地面に叩きつけられたらしい衝撃と何かが碎ける感触。

これは駄目だな、と思った直後に俺の意識はブラックアウトし次の瞬間にはまったく別の場所に移動したことに気がついた。

見たことのない天井。ついでに背後に光を背負った変な女。

これはなんだ、いわゆる異世界物小説のテンプレかなにかか。

本当にそうだとは思わなかった。

これがせめて中学2年生ごろの俺だったら狂喜乱舞したかもしれない。

が、高校二年生になった今【中二病】はとづくに卒業している。

遅すぎたんだ、なにもかも……

とはいえあの衝撃や感触ではとても生き延びていられたとも思えない。

開き直ってこの世界で勇者だか救世主だかをやるしかない。

だが俺は日本の平凡な高校二年生、チートな超能力の10個や20個はなければ生き延びられるかすらもわからない。

だから説明をしている女神（自称）に聞いてみた。

「おでんよ」

うん。よくわかった。こいつは日本語をイマイチ理解できてない。

細かな説明を聞く限りでは右手で触れただけでほぼすべての物を【おでん】へと変えてしまう能力らしい。

俺はミダス王（変種）か。それともどこぞのレベル0か。

こんなのはどう見ても呪いじゃねえか……

などと考えていたら女神（嘘くせえ）がいきなり実力行使に出た。
「さあ、勇者オーデーンよ。かの地の邪悪を清め世界を救いなさい」
「なんだ、その名前は——！！！」

女神（確かに美人だが中身が残念すぎる）が繰り出した技。これは以前映像の中でしか見たことのない【大雪山おろし】とかいう大技。こいつガチ格闘系の女神か。通りで脳筋くさいと……

投げられた直後周囲の風景が一変、空中に投げられたかと思えばすぐさま地面に叩きつけられ意識が飛んだ。

目が覚めると周囲には倒れた木々が散乱し、台地にはえぐれた跡が残ри、目の前には学校のプールほどの大きさのおでんの池が。

これはなにか、落ちてきた拍子にやつちやったのか。

先が思いやられるな……と思っていたら、さらにうっかりやってしまった。

背中からおろしたバックがおでんに変わった。コンビニのお持ち帰り用のバック入りおでんに。

微妙に便利くさいがやっぱり呪いだろ、コレ。

カラシと割り箸まで付いていたが、よく見ると自宅近くのコンビニの割り箸と同じ物だった。

ホームシックにでもなったらどうする気なんだ。

「おい、お前」

背後から声をかけられた。

そこには無精ひげを生やし山刀を持った山賊のようなおっさんが、厚手の革で出来た鎧を着込み、大きな弓を背負っている。

よく見て獵師、見たままなら山賊か。

「手に持っているものは食べ物か？よければ少し分けていただきたいのだが」

頬がこけてやややつれているわりには理性も礼儀も持ちあわせた人か。これなら仲良くしても損はないな。

ちよつと奥にあるおでんの池に気がつかないあたり少々視野狭窄な気もするが。

手に持っていたおでんを渡すと立ったまま一礼をして食べた。

……食べながら泣き出した……

ひげづらのおっさんがおでんを泣きながら食べている絵というのは結構気持ち悪いな。

「うまい」

でもカラシをつけすぎてるぞ。本当は辛くて泣いているんじゃないのか？

テンプレ進行その1（後書き）

なぜプロットを考えている作品よりもでっち上げのほうを書きやすいんだ…

誤字脱字嘘大げさ紛らわしいがございましたらご連絡ください。
善処いたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0895z/>

おーでんの日々

2011年12月3日14時52分発行